

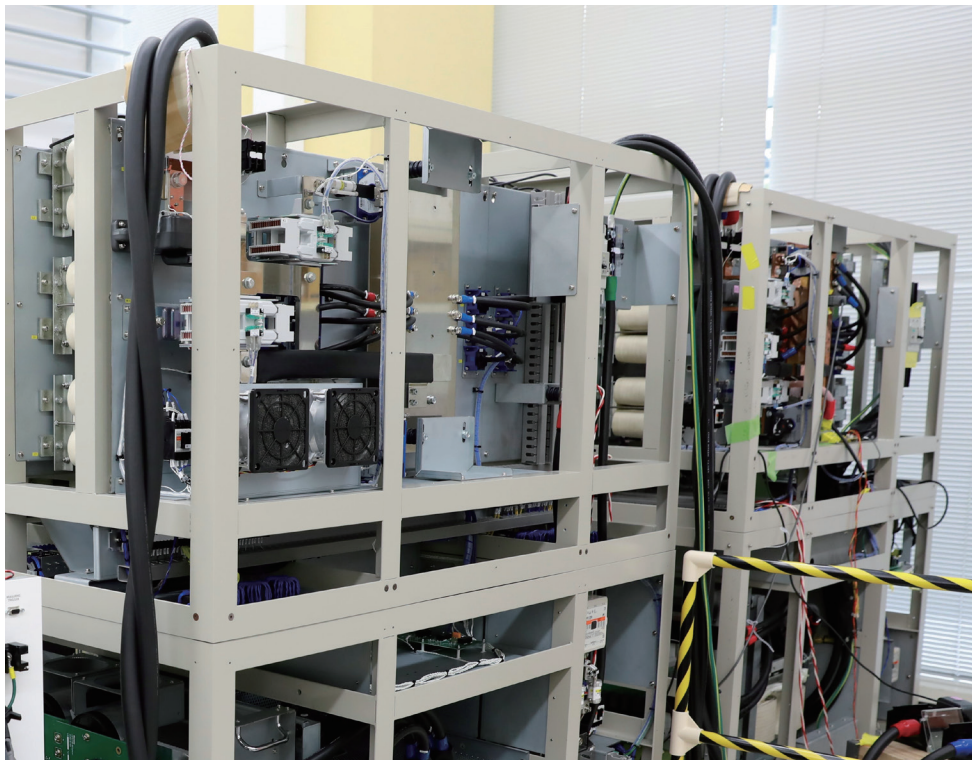
Company Profile
企業概要

創業者の楊仲慶氏は東京工業大学でデジタルによるマイコン制御について研究し博士号を取得。その後東洋電機製造に就職し3年後に独立。当時、強電分野がアナログ制御からデジタル制御に移り変わる時期。研究現場ではデジタル制御のツールが存在せず開発者が非常に苦労していたことを機に、開発ツールを作るためにMywayプラスを創業。現在、世界中の大学や企業の研究部門で採用されている。国内大学では9割以上のシェアを占める。その後、開発ツール販売から受託開発、評価・試験装置販売に業務内容が拡大。現在は回生型電源装置が主力事業となり大手自動車メーカーなど取引を拡大している。

代表者名 楊仲慶
設立年月日 平成5年7月27日
所在地 〒220-0022 神奈川県横浜市西区花咲町 6-145 横浜花咲ビル
従業員数 90名
資本金 7,050万円
Tel. 045-548-8831
Fax. 045-548-8832
https://www.myway.co.jp/

Examiner's Eye
調査員考察

ヨーロッパなどでガソリン車の販売禁止が計画されたことを機に、各自動車関連企業からの引き合いが急速に増えているという。拡大する市場の需要に、長年培った当社の技術力で応えていくことで、今後大きな成長が期待される。



▲当社の実績が認められて受注した大型・高性能の特注製品



▲補助事業によって完成した「p CUBE-L」

補助事業のきっかけ

当社の主力製品「p CUBE（ピーキューブ）」は、小型の回生型電源装置。軽量でかつ直列・並列の組み合わせを試験対象によって自由に切り替えできるのが特徴。研究開発用途のため高度な性能を持つが、顧客からは生産ラインで使用するために性能を少し落としても小型・安価な製品が欲しいという需要があり、その試作開発のため、補助事業に申請した。

事業概要

当時の課題は、顧客要求を満たす性能水準と小型化を両立させること。課題達成のためセンサ回路と制御基板を新しく設計することから開始。試行錯誤ののち、電流・電圧の容量や応答速度などの目標水準を達成。さらに小型化により使用部品のコストを削減。従来製品の販売価格の約60%の売価を実現した。

事業化状況

平成26年6月30日に試作開発事業が終了し、新製品「p CUBE-L（ピーキューブエル）」と命名。主に中国・韓国より引き合いが増加しており。さらなる受注拡大にむけ、顧客要求に応じた改良を重ねている。

主力製品の小型・安価なタイプを開発

当社の主力製品に「p CUBE」という回生型電源装置があります。並列接続だけでなく、直列接続も可能で試験対象によって自由に組み合わせられるのが特徴です。高い性能により、バッテリーの試験研究用として、国内で多数引き合いを頂いてますが、中国のバッテリーメーカーより、「生産ライン用にもう少し小型で安価なものが欲しい」と要望をいただき、試作開発用の検査機器等を購入するため、ものづくり補助金に応募しました。会社の規模からして1000万近い投資は勇気がいります。また技術的な自信はあっても、ものづくりは分からないことも多い。挑戦の敷居を下げてくれるという意味で補助金はありがたかったです。

社内では約10名が試作品開発に関わりました。使用点数を減らすため、回路から見直し、ハード、制御、ソフトなど各分野のエンジニアが集結。社内的に大きなプロジェクトでした。苦労したのは設計通りに動か

ず、原因追究に時間がかかり計画が遅れてしまったこと。それでも完成できたのは、本事業が会社の重点目標であり、取りやめはありえないと全社員に伝えたことです。あと、お客さんに納品の約束をしていたのも大きかったですね。

技術を応用し、大型・高精度製品も開発

本事業で開発した小型で安価な商品は「p CUBE・L」として中国や韓国を中心に販売しています。小型化を実現する過程で、制御技術や基盤を見直したことで、当社の技術もさらに進歩しました。それらを大型・高性能な製品に応用したところ、今後は国内大手企業から「ぜひ欲しい」と引き合いをいただきました。高精度・大容量の製品と、安価な生産ライン用製品と、今回の補助事業を通じて製品の幅が広がりました。

今後の目標としては主に2つ。1つ目は海外受注を拡大させていくこと。2つ目は



▲代表取締役の楊仲慶氏

技術力をさらに高めていくこと。技術開発が当社の命。新しい技術開発を常に先行して行っていきたいです。そのために技術者の育成が課題です。昨年一般社団法人「日本パワーエレクトロニクス協会」を立ち上げました。技術者の育成と交流の場を作り、業界全体の発展につなげていく試みです。

パワーエレクトロニクス技術を応用し幅広い電源システムを開発

電気自動車市場が拡大する中、安全かつ効率よい充放電システムへの需要が高まっている。当社は25年間で築いたパワーエレクトロニクス技術を強みに、高性能から安価なラインまで幅広く対応。海外バッテリーメーカーなどからも引き合いが増えている。